

第3章 めざす将来の環境像と基本目標

1. めざす将来の環境像

下記の基本理念に基づき、本市がめざす将来の環境像は次のとおりとします。

【めざす将来の環境像】

みんなで創る 豊かな自然と笑顔輝く 持続的発展可能なまち

≪「美しい山形をつくる基本条例」の趣旨に基づく計画の基本理念≫

「いのち」、「いきい」を大切に、市民・事業者・行政が「いっしょに」なって、豊かな自然を守り続け、人と自然とが「いつまでも」共存する持続的発展が可能な社会を創る。

- 「いのち」 : 私たちは、空気や水、食物などを体内に摂取することで「いのち」を維持し、地球は、さまざまな生物によって構成される生態系^{*19}の調和によって成り立っています。私たち人間の「いのち」を守ることはもちろんですが、動植物の「いのち」も大切に考え、健やかで安全に暮らすことのできる生活環境を確保していくことが環境行政の最も基本的な目標です。
- 「いきい」 : 本市の自然景観や歴史的・文化的景観は、物質的な豊かさだけでなく、「うるおい」、「やすらぎ」、「ゆとり」などの精神的な豊かさを満たすものです。私たちは、本市の豊かな自然や歴史的・文化的な環境を守り育て、活かしながら、市民のだれもが暮らしやすい、心豊かな質の高い環境を創らなければなりません。
- 「いっしょに」 : 私たちは、自然の循環や地球資源などの恩恵を受けながら生活する一方で、それぞれの活動を通して環境に負荷を与えています。私たち一人一人が、山形市ひいては地球を構成する一要素であるということを自覚し、市民・事業者・行政という立場でそれぞれの責務を果たすとともに、互いに連携し、健全な環境の保全に努める必要があります。
- 「いつまでも」 : 市民共有の財産ともいえる良好な環境を保つためには、これまでの取組みをさらに発展させながら、地域資源を有効に活用して環境への負荷を減らし、持続的発展が可能な社会をつくる必要があります。私たちは、先人から引き継いだ良好な環境を守り育て、さらに豊かなものにして未来の子どもたちに誇れる環境を引き継ぐ責務を負っています。

2. 5つの基本目標と10年後のめざす姿

めざす将来の環境像を実現するために、5つの基本目標を設定します。

5つの基本目標は、それぞれが関連し合い、どれ一つ欠くことのできない役割を果たします。

「環境意識の向上」は、他の4つの基本目標を達成するために、環境に対する意識を持って市民・事業者・行政が連携・協力して取り組むことが不可欠であることから、基本目標の基盤としての位置付けとなるものです。

5つの基本目標は長期的な視点に基づく部分もあることから、本計画では、計画期間が終了する令和12（2030）年度までの「10年後のめざす姿」を基本目標ごとに設定します。

【基本目標1】：脱炭素社会（ゼロカーボンシティ）

地球温暖化^{*1}を防止し、将来の世代へ豊かな環境を引き継いでいくために、環境負荷^{*34}の少ないライフスタイルが定着し、化石燃料^{*32}から再生可能エネルギー^{*28}や新技術への転換が図られた、2050年に二酸化炭素の排出が実質ゼロとなるゼロカーボンシティの実現を目指します。

＊10年後のめざす姿：《脱炭素に向けた取組みが進む地球にやさしいまち》

市民、事業者が率先して省エネルギー型の機器を導入し、省エネルギー活動に取り組むほか、まちの回遊性の改善や交通の利便性の向上が図られ自家用車依存の解消が進むなど、環境負荷の少ないライフスタイルへの転換が進んでいます。また、再生可能エネルギーなどの地域資源の有効活用が図られ、次世代自動車^{*38}の普及拡大や、水素などの新たなエネルギーの活用なども始まり、脱炭素社会^{*2}に向かって動きだしています。

【基本目標2】：循環型社会

将来の世代へ限りある資源を引き継いでいくために、廃棄物の発生抑制や資源の再使用の推進などにより、新たな資源の消費が抑制された、生産から廃棄までのライフサイクルを通して環境負荷の少ない循環型社会^{*3}の形成を目指します。

＊10年後のめざす姿：《3R活動が推進され限りある資源を大切にすまち》

市民、事業者に省資源の認識が広がり、3R活動（Reduce（リデュース）：ごみを減らす、Reuse（リユース）：再使用する、Recycle（リサイクル）：再生利用する）が浸透し、最適な生産・消費が推進され、発生するごみが減少しています。また、バイオマス^{*33}資源やプラスチック資源などを有効活用する仕組みづくりが進んでいます。

【基本目標3】：自然との共生

豊かな自然の恵みを将来の世代へ引き継いでいくために、生物多様性が適切に保たれ、社会・経済活動と自然が調和し、自然とのふれあいの機会が確保された人と自然が共生する社会を目指します。

✿ 10年後のめざす姿：《豊かな自然の恵みを未来につなぐまち》

奥羽山地や西部丘陵地の自然環境は維持されており、これまでどおり多様な生物の生息・生育場所となっています。森林経営管理制度^{*39}による森林整備が進み、荒廃林の減少が図られています。耕作放棄地が少しずつ活用されるなど中山間地域の農林業に活性化の兆しがみられ、自然環境が持っている多面的機能も回復に向かっており、人と野生動物のすみわけが進んでいます。また、地域ぐるみの鳥獣被害対策などが軌道に乗り、ニホンザル、イノシシ等の野生動物による農業被害、カラス、ムクドリによる生活被害は軽減されるなど、人と自然との共生に向かって取り組みが進んでいます。

【基本目標4】：生活環境の保全

健康で快適な環境を将来の世代へ引き継いでいくために、社会・経済活動などによる環境負荷^{*34}の増大や公害の発生を防止し、生活に「うるおい」や「やすらぎ」を与える快適な環境が確保された生活環境を保全していきます。

✿ 10年後のめざす姿：《健康で快適に暮らせるうるおいあるまち》

市民・事業者・行政の連携により大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害も未然に防止され、きれいな大気、安全な水の恩恵を受け、健康で快適な環境が保たれています。また、美化活動や生活マナーの向上が推進され、ごみのポイ捨てが減少し、まちの美観が保全されています。さらに歴史文化遺産を活用したまちなみ景観の形成や市街地の緑化も進むなど生活環境の質が向上し、市民にうるおいを与えています。

【基本目標5】：環境意識の向上

環境問題を解決するためには、市民一人一人の環境に対する意識を高め、実践に結び付けていく必要があります。子どもから大人まであらゆる世代が環境保全に関する正しい認識と理解を深め、日常生活や事業活動の中で率先して環境保全活動に取り組んでいく環境意識の向上を図っていきます。

✿ 10年後のめざす姿：《情報が共有化され環境にやさしいライフスタイルが広がるまち》

子どもからお年寄りまで各年代に応じた環境情報が発信・共有化され、市民が環境問題を自分事として捉え、持続可能な社会について考えるようになり、環境にやさしいライフスタイルを実践する人が増えています。また、さまざまな環境保全活動に参加する人やその活動の中核となる人材も増え、みんなで環境の保全・創出に取り組む姿が広がっています。

✿ 10年後のめざす姿のイメージ

計画期間が終了する令和12(2030)年度までの「10年後のめざす姿」をイメージ図として示します。

市内の各地で、脱炭素や資源循環など基本目標の達成に向けた取組みが展開されています。



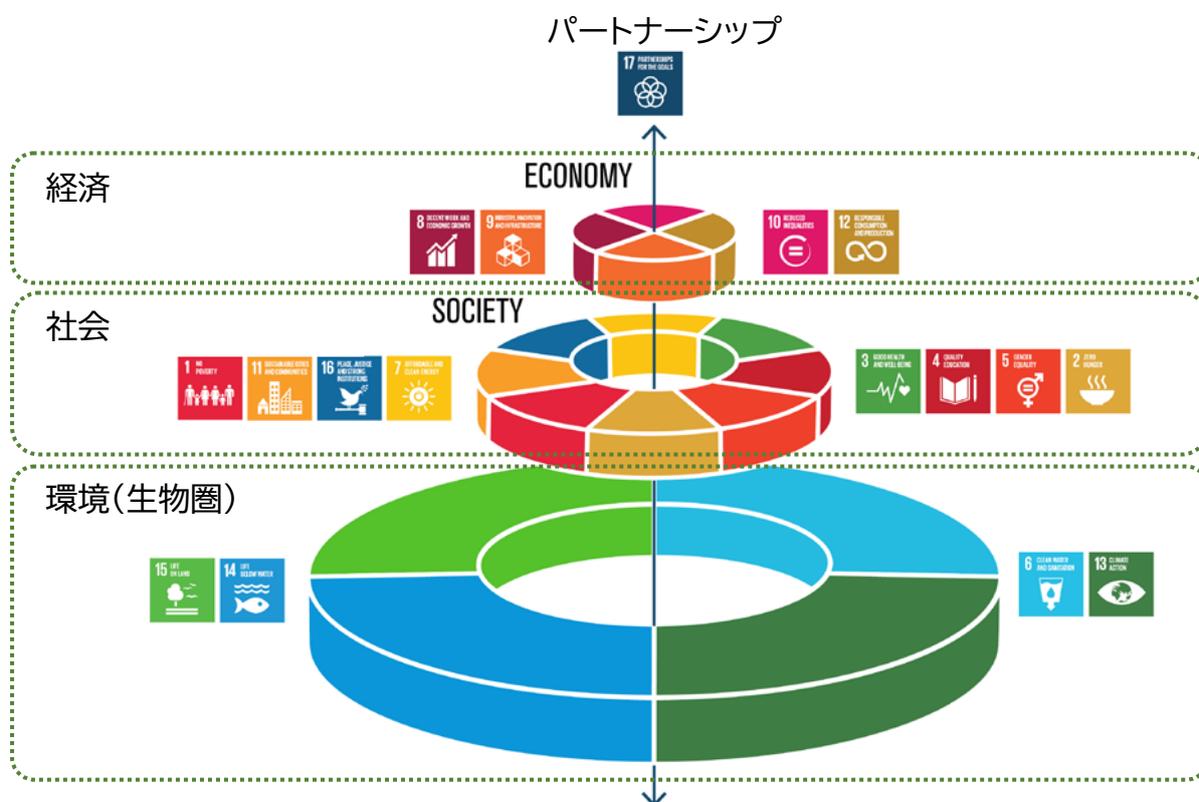


3. SDGs と計画の推進

SDGs の 17 のゴール（目標）は相互に強く関連しています。ストックホルム・レジリエンス・センターの J.ロックストローム博士によって考案されたウェディングケーキモデルでは、SDGs のゴールは「環境（生物圏）」、「社会」、「経済」の 3つの層で表されています。「環境（生物圏）」に分類されるゴールが、他の目標の土台となっており、「環境（生物圏）」の上に「社会」が、さらにその上に「経済」が乗っています。これは「経済」の発展は、「社会」に、「社会」は「環境（生物圏）」に支えられて成り立っており、その中で、土台となっている「環境（生物圏）」は、すべてのゴールを包含している最も重要な階層として位置づけられています。1つのゴールだけの達成を目指すことは、他のゴールの達成を妨げる可能性があり、統合的なアプローチを用いることで環境、社会、経済の課題の同時解決を図る「マルチベネフィット」を目指すことが重要です。

また、SDGs の達成には、目指すべき未来を考えて現在すべきことを考えるという「バックキャストिंग」の考え方が重要とされています。さらに、「誰一人取り残さない」という理念のもと、あらゆる主体が参加する「全員参加型」のパートナーシップの促進が掲げられています。

本計画の推進にあたっては、市民・事業者・行政のすべてのステークホルダー*40 が役割を果たし、経済・社会・環境の三分野のすべてにおける関連課題との相互関連性・相乗効果を重視しつつ統合的解決の視点を持って取り組みます。



出典：Stockholm Resilience Centre, Stockholm University に加筆

SDGs のウェディングケーキモデル

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



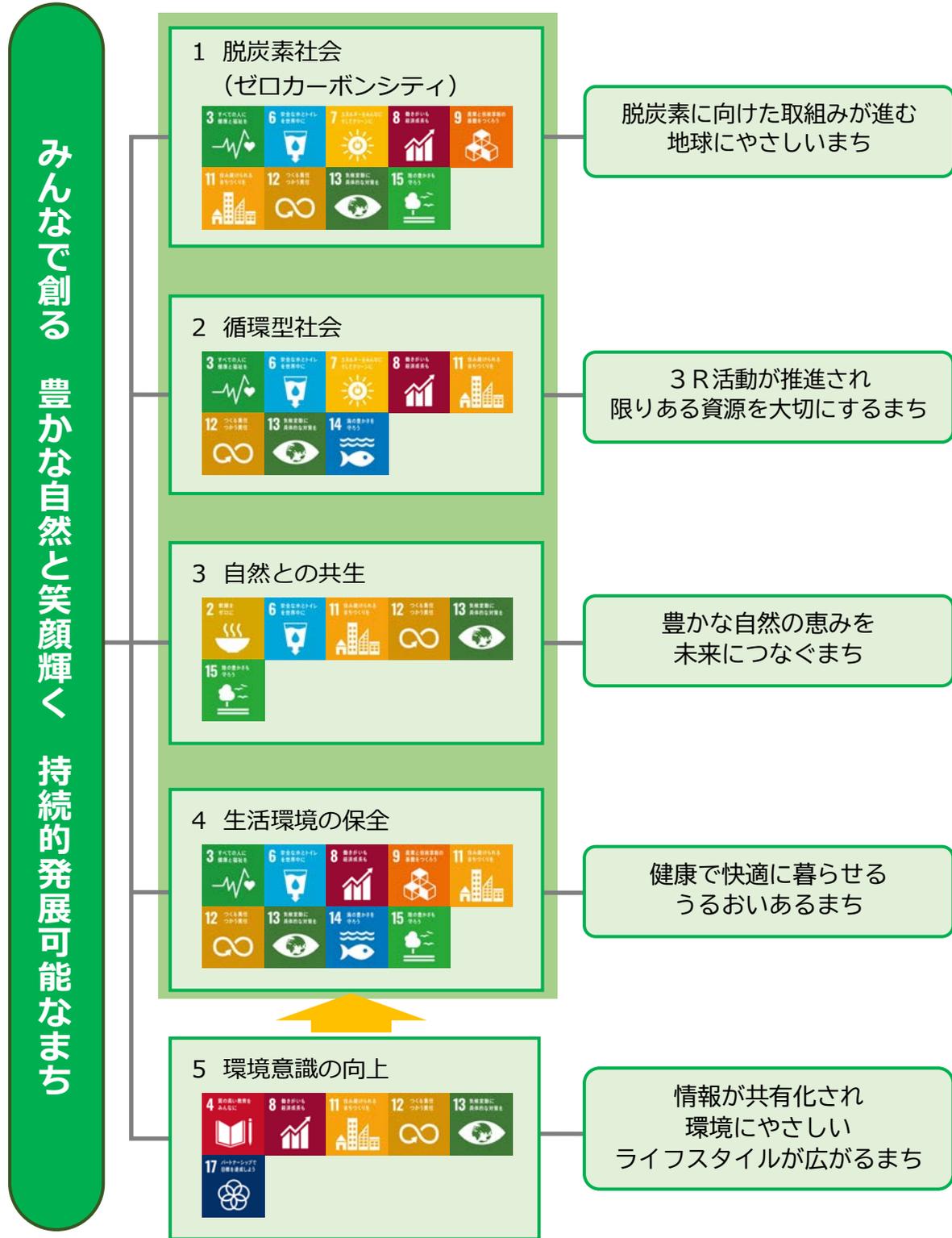
4. 施策の体系

本市のめざす将来の環境像の実現に向けて、基本目標、基本施策を次のように体系づけ、計画を推進します。

めざす将来の
環境像

基本目標と
関連する SDGs のゴール

10 年後の
めざす姿



※ SDGs のゴールの詳細については P5 を参照

本計画に関連するSDGsのゴール一覧

2 飢餓をゼロに	8 働きがいも経済成長も	14 海の豊かさを守ろう
3 すべての人に健康と福祉を	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	15 陸の豊かさを守ろう
4 質の高い教育をみんなに	11 住み続けられるまちづくりを	17 パートナーシップで目標を達成しよう
6 安全な水とトイレを世界中に	12 つくる責任 つかう責任	
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	13 気候変動に具体的な対策を	

基本施策

施策の方向性

